

1月26日(土)にキリスト教学校教育同盟 北海道ブロック研究集会在遺愛学院で 開催されました！！

北海道でキリスト教学校教育同盟に所属する3つの学校法人である北星学園、酪農学園、遺愛学院が毎年1月に合同で開催するのが、北海道ブロック研究集会です。3年に1度会場校が回ってくるのですが、今年は遺愛学院が当番でした。今までは、遺愛学院本館の会議室で行っていましたが、本館が改修工事の本格調査に入り閉鎖されたため、今回は函館山の麓にある遺愛幼稚園で1月26日に開催することにしました。

遺愛幼稚園は現存する幼稚園では北海道で最も歴史のある幼稚園で、今年124周年を迎えます。(園舎も築106年です。)遺愛女学校の4代目校長デカルソン校長が初代の園長で、設立当時は遺愛女学校もこの地にありました。すなわち、遺愛学院発祥の場所はこの地で、145年前の1月26日にMCハリス夫妻が北米メソジスト監督教会から派遣されて来函し、キリスト教伝道と教育を始めました。

1月26日、遺愛学院創基145周年を迎えた日に、発祥の地で北海道ブロック研究集会を開催できたことは、とても意義深いことでした。午前11時開会礼拝、開会挨拶、11:30~13:00講演(テーマ:函館の戦争を歩くー『はこだてピースマップ』がめざすもの、講演者:西堀滋樹氏)、各法人の学校の現状報告13:40~14:20、閉会礼拝、閉会挨拶というプログラムでした。

西堀氏が属するYWCAピースマッピング委員会の『はこだてピースマップ』作成は、本校にも影響を与え、9月末の学期間休業の際に、遺愛女子高等学校社会科では生徒に呼びかけ函館山に残る戦跡巡りをする際の参考資料にもなっており、今回、その作成意図を聞くことができました。

遺愛幼稚園は、幼稚園の創始者フレーベルの恩物も多数保管されており、研究集会にいらした方々は興味深そうに見入っていました。

2019年1月26日



←中央が遺愛幼稚園
左上がハリストス正教会